

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

田真、田広、田慶、この三人は兄弟なり。親に後れてのち、親の財宝を三つに分けて取れるが、庭前に紫荊樹とて、枝葉栄え、花も咲き乱れる一本あり。これをも三つに分けて取るべしとて、夜もすがら三人僉議しけるが、夜のすでに明けければ、木を切らんとして、木のもとへ到りければ、昨日まで栄えたる木が、枯れたり。田真これを見て、草木心ありて切り分かつたんと言へるを聞いて枯れたり。まことに人としてこれをわきまへざるべしやとて、分かつたずして置きたればまた再びもとのごとく栄えたるとなり。

(「御伽草子」より)

* 親に後れてのち||親が亡くなったのち。

* 紫荊樹||マメ科の落葉低木。

* 夜もすがら||一晩じゅう。

* 僉議しけるが||相談したが。

* わきまへざるべしや||十分にくみにくみとってやるべきではないか。

問一 (歴史的仮名づかい) 文章中の次の言葉を、それぞれ現代仮名づかいに直して書きなさい。

(1) 言へる () ()

(2) わきまへざる () ()

問二 (口語訳) ——線①「紫荊樹とて」の口語訳として適当なものを、次から選びなさい。

ア 紫荊樹といっしよに

イ 紫荊樹という名の

ウ 紫荊樹の近くに

エ 紫荊樹に似ていて

問三 (指示内容) ——線②「これ」は、何を指していますか。文章中から抜き出しなさい。

問四 (口語訳) ——線③「夜のすでに明けければ」の口語訳として適当なものを、次から選びなさい。

ア 夜がまだ明けないうちに

イ 夜がなかなか明けそうもないので

ウ 夜がまもなく明けるのに

エ 夜がもう明けたので

問五 (助詞の意味) ——線④「ん」、⑤「たり」は、どのような意味を表していますか。それぞれ次から選びなさい。

ア 完了

イ 可能

ウ 推量

エ 意志

問六 (文脈) にあてはまる言葉を、次から選びなさい。

ア さらでも

イ にはかに

ウ いささか

エ さすがに

問七 (主語) ——線⑥「聞いて」の主語を、次から選びなさい。

ア 田真

イ 田広

ウ 田慶

エ 紫荊樹

問八 (会話部分) ——線⑦「とて」は、会話を引用したことを示す助詞ですが、この会話はどこから始まっていますか。会話の冒頭の二字を抜き出しなさい。

問九 (内容) ——線⑧「もとのごとく」とありますが、もとの様子が示されている部分を、文章中から十二字で探し、初めと終わりの二字を抜き出しなさい。

問十 (要旨) この文章の内容と合うものを、次から選びなさい。

ア 親が死んでしまったので、兄弟はとほうにくれてしまった。

イ 草木にも心があるが、兄弟の気持ちを知ることができなかった。

ウ 兄弟は、木を分けようとしたが、枯れて価値がなくなったのでやめた。

エ 兄弟は、木を分けるのは心ないことだと悟り、切るのをやめた。